

8つの実績 実現への邁進

公明党 鈴木ひでし

もの貧困対策は重要。より迅速に対策を推進するため、条例制定を含め、実効性の高い施策推進体制を整えるべきと指摘しました。

総合防災センターや消防学校に、様々な訓練施設や災害対応ロボットを整備し、ディザスターシテイ化を図るべきと訴えました。

校長を支える マネジメント力を十分に発揮できるよう、学校運営全般や不祥事防止など、幅広い役割を担う県立学校の校長を支える仕組みづくりが必要と指摘しました。

プロボノ活用

歴史を活かす観光振興

教員の成長を

先ごろ閉会した平成28年度第2回定例会で一般質問に立ち、黒岩祐治県知事らに対し、福祉や防災、教育分野など全8項目において、提言を含めた質問を行いました。今回は、その内容を少しずつご報告します。

仕事を通じ培った知識やスキルを活かし、社会貢献するボランティア活動「プロボノ」。NPO法人等で徐々に活用が始まっているが、交通費などの経費負担がネックに。そこで、プロボノ活動の経費の県による支援を提案。さらに退職した県職員の技能を活かす仕組み作りにも言及しました。

明治維新のきっかけとなった「生麦事件」等、県内の歴史的財産を資源として活かした観光振興に力を入れるべきと提言しました。

立高校に受け入れる準備の一環で、県立高と特別支援学校の教員の人事交流を拡大するべきと訴えました。

児童養護施設への就職支援
高校卒業とともに児童養

子ども貧困対策
生まれ育った環境によ

認知症サポーター
認知症サポーターが増え

全て前向きな答弁
以上8項目、全て実現に



神奈川県議会議員4期
環境農政常任委員会/安全安心推進特別委員会
HP <http://www.hideshi-suzuki.com/>
FB <https://www.facebook.com/turumi.hideshi.suzuki>
TW https://twitter.com/suzuki_hideshi
ML ml_suzuki-ctl@labo2.sere.jp

り、子どもの将来が左右されることのないよう、子ども

「ディザスターシテイ」と
は市街地の災害現場を再現した米国の大規模常設訓練施設。熊本地震を受け、県

のほどこかと提案しました。